

事業所名

あじさい療育支援センター

支援プログラム①【総括】

作成日

令和7 年

2 月

17 日

法人（事業所）理念		・障がいの有無にかかわらず、子どもたちが地域で安心して生活できるように支援します。 ・保護者に寄り添い、ご家庭や関係機関と協力しながら、子どもたちの育ちを支援します。						
支援方針		・遊びを通して様々な経験を積み重ね、「遊び」から学ぶ活動の実践に取り組み、児童一人ひとりの成長発達を促す発達支援（療育）を実施します。 ・児童一人ひとりの状況、状態に応じた発達支援（療育）を実施し、多職種連携による専門的な支援をしていきます。 ・日常生活における基本的な動作や基本的な生活習慣を身につけ、集団生活への適応性を高めていけるよう、スモールステップを大切に支援していきます。 ・発達の段階や特性を把握し、個別の支援に活かします。						
営業時間			8 時	30 分から	17 時	15 分まで	送迎実施の有無	あり なし
		支 援 内 容						
本人支援	健康・生活	・生活リズムを整えていけるように支援していきます。 ・基本的な生活習慣（食事、排泄、着脱、清潔等）をスモールステップで習得できるよう、適切な目標を設定して支援します。						
	運動・感覚	・日常生活動作や姿勢保持に必要な力をのばしていくための活動を取り入れていきます。 ・必要に応じて環境調整を行い、活動に取り組みやすくなるよう支援をおこないます。 ・視覚、聴覚、触覚、嗅覚等の感覚や認知を活用し、粗大運動・微細運動で体幹や指先の巧緻性を伸ばしていくよう、遊びを通して支援していきます。						
	認知・行動	・一人ひとりの認知特性を理解し、状況に応じて適切に行動する力を育んでいきます。 ・相手の話に注目し、指示を聞き取って行動することや、模倣や模写等を行うことで、文字・物・数・形の概念を形成し、認知理解面が向上するよう支援していきます。						
	言語コミュニケーション	・「聞く」「話す」というコミュニケーションの基盤を作り、表情や身振り、言葉で自分の気持ちを表現できるように支援していきます。 ・小集団の中で、他児童と一緒に活動する経験を重ね、コミュニケーションの楽しさを感じられるように支援していきます。 ・コミュニケーションツールとして、絵カードや文字等を使った視覚支援を取り入れていきます。						
	人間関係社会性	・支援者と信頼関係を構築し、安心感や信頼感を育む支援を行っていきます。また、相手に応じて行動する力を育んでいきます。 ・小集団での遊びや活動を通して、人と関わる力やコミュニケーション力を育み、社会性の向上が図れるよう支援していきます。						
家族支援		・保護者と児童の日々の状態や育ちを確認し合い、信頼関係を築きながら個別の事情に配慮した支援を行います。（個別面談、保護者研修会の実施等） ・ライフサポートファイルの活用を推進します。				移行支援	・こども園、幼稚園、保育所、小学校に移行する際、引継ぎ等を行い、連携を図ります。 ・移行先や併行利用先を訪問し、生活状況の把握や助言等を行います。	
地域支援・地域連携		・児童が併行利用しているこども園、幼稚園、保育所、事業所等と情報共有等を行い、発達支援において連携を図っていきます。 ・地域共生協議会への参加 ・保育所等訪問支援				職員の質の向上	・所外研修への参加 ・所内研修（療育研修、摂食研修）の実施	
主な行事等		誕生会、療育参観、親子散歩、修了式、運動会、季節の行事（夏のお楽しみ会、冬のお楽しみ会、いもの苗植え、いもほり、水遊び、節分等） 避難訓練、不審者対応訓練、内科健診、整形外科診察、小児神経科相談、歯科健診、身体計測、尿検査の実施等						

※本人支援の具体的な内容は支援プログラム②の通りです。